

大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する DA-EPOCH-R 療法の臨床的有用性

1. 研究の対象

2018 年 1 月から 2022 年 12 月までの期間に、未治療の大細胞型 B 細胞リンパ腫（原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫を除く）に対し、DA-EPOCH-R（リツキシマブ、用量調整型のシクロフォスファミド、ドキシソルビシン、エトポシド、ビンクリスチン及びプレドニゾロン）療法を受けた方。

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2027 年 12 月 31 日

研究目的：未治療の大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する治療は、長年 R-CHOP（リツキシマブ、シクロフォスファミド、ドキシソルビシン、ビンクリスチン及びプレドニゾロン）療法とされてきました。しかしながら、一部の患者様では、R-CHOP 療法の効果が不十分であることがわかっています。

R-CHOP 療法による効果が不十分であることが予想される患者様に対する治療戦略は未だ確立されておらず、さまざまな国内外の研究チームが検討を重ねています。そのうちのひとつとして、R-CHOP 療法を強化した DA-EPOCH-R 療法によって治療成績を向上させることができるとする報告があります。一方で、この治療では R-CHOP 療法よりも副作用が強くなるため、減量や中止が必要となる方も少なくありません。

そこで、当院で DA-EPOCH-R 療法を受けた患者様の詳細を調査することで、大細胞型 B 細胞リンパ腫患者様の治療方法を最適化することにつながると期待しています。

研究方法：本研究は、研究対象者の方を後ろ向きに調査し、DA-EPOCH-R 療法の効果、副作用等について、調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、患者イニシャル、性別、診断日、治療経過（効果、副作用）等
なお、本研究では試料の利用ございません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 血液内科 油田 さや子

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上